

乳牛ふんの良質発酵堆肥の作製

家畜ふんは、水分70～40%の範囲で好気発酵が促進される。
このため、水分の高い乳牛ふんは、水分調整材や乾燥処理で水分調整することにより、好氣的な発酵処理で良質堆肥を作製できる。



攪拌式発酵ハウス

水分調整した家畜ふんを攪拌しながら好気発酵を促進する。堆積高は60cm以上必要で、発酵処理期間は約30日が必要である。



← 攪拌式乾燥ハウス

攪拌により、機械的に水分を蒸散させるが、冬季の蒸散量は夏季の半分となる。1頭当たり10㎡の面積が必要である。



← 堆肥舎

一次発酵後の堆肥を堆積し、完熟化を促進させる。水分調整生ふんを処理するには、数回の切り返しと通気床での送風が必要である。

密閉式堆肥化装置

縦型は内部の攪拌羽根を回転させ、横型は円筒形容器そのものを回転させる。温風送風や発酵促進剤の利用で発酵効率を高め、高水分生ふんの処理も可能である。

